

日本大学生産工学部

鉄道工学リサーチ・センター 特別シンポジウム

「国際協調による鉄道安全性向上の取り組み」

開催の趣旨

日本の鉄道は、高い安全性を持っていますが、これには事故調査や再発防止のため安全技術の研究開発などに努力してきたことを忘れてはなりません。また、こうした点でアジアをはじめとする諸外国からの技術協力の要請に対応していく必要もあります。

当センターでは、現運輸安全委員会鉄道部会長の奥村文直氏、事故調査機関の設立に努力されてきた関西大学の安部誠治教授、元鉄道事故調・運輸安全委員会委員として携わって来た当センターの富井規雄教授、松本陽上席研究員に加えて、台湾で特急普悠瑪号事故調査に加わり同国での鉄道事故調査機関設立のキーパーソンである国立台湾大学の頼勇成教授をお招きして、本シンポジウムを企画しました。各講師の講演や討論、さらには参加頂いた方々との情報・意見交換を通して、鉄道の安全性向上に有意義なものとなると確信しております。皆様のお誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。

【日時】令和元年8月3日(土) 13:30 ~ 17:30 予定

【会場】日本大学理工学部 駿河台校舎タワー・スコラ 1F 大教室
(東京都千代田区神田駿河台3丁目1-1)

【交通アクセス】

- JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩 3分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩 3分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩 5分



【参加登録】

参加費：無料

定員：100名

問い合わせ先

鉄道工学リサーチ・センターホームページ

<http://nu-crr.jp>

プログラム

13：30～13：40 開会の挨拶

日本大学生産工学部鉄道工学リサーチ・センター センター長 綱島 均

13：40～15：10 講演（第1部）（司会：富井規雄）

1. 松本 陽（鉄道工学リサーチ・センター最高顧問、元運輸安全委員会委員）
「日本における鉄道事故調査の歩み」
2. 奥村文直（運輸安全委員会 鉄道部会長）
「運輸安全委員会の活動と国際協調」
3. 頼 勇成（国立台湾大学教授）[英語講演]
「台湾における鉄道事故調査と安全性の向上」

15：10～15：20 休憩

15：20～16：50 講演（第2部）（司会：綱島 均）

4. 安部 誠治（関西大学社会安全学部 教授）
「鉄道事故調査の社会的意義と課題」
5. 富井規雄（鉄道工学リサーチ・センター 副センター長、元運輸安全委員会委員）
「事故に学ぶ - 小さな事故にも注目を」
6. 中村英夫（日本大学名誉教授）
「鉄道の次世代安全性（Safety 2.0）」

16：50～17：20 デスカッション（司会：松本 陽）

講演者全員

17：20～17：30 閉会の挨拶

日本大学生産工学研究所次長 野村浩司